

人文学部卒業研究

題目 ホラー映画におけるサイコパスの描かれ方

指導教授 山本明 印

提出年月日 2019年 3月3日

学籍番号 HI15052

氏名 前田隼大

ホラー映画におけるサイコパスの描かれ方

HI15052 前田隼大

要旨

流血描写や性的な表現を扱うメディア作品が青少年に悪影響を及ぼしうるというコメントや記事や声が目立つ。そういった作品は確かに現実と虚構の境界線を曖昧にしまい、フィクションと割り切れないうままその内容を鵜呑みにしてしまったり、その作品を模倣して事件を起こしてしまうかもしれない。その特徴ゆえにネガティブな部分ばかりが目立ってしまうが、これを倫理観を学ぶためのポジティブな思考として捉えられないのか。本研究は映画内の登場人物のサイコパシー特性を測るための尺度である PSPS 尺度を用いた内容分析と、撮影技法を基にした映像分析から登場人物の心理的内面を明らかにしていく。

第1章は先行研究の概観であり、まずサイコパスとは何か、それらを扱うとされるサイコスリラーとは何か、撮影技法における心理描写、サイコスリラーの歴史を述べていく。また、ここで本研究内でのサイコスリラーの定義をゾンビやゴースト、エイリアンが出ないホラー作品をサイコスリラーと位置付けた。第2章では、映画の内容分析と映像分析の研究課題と方法を述べていく。第3章では、内容分析と映像分析の目的と方法を述べていく。対象作品はアルフレッド・ヒッチコック (Alfred Hitchcock) 作品『サイコ』(1960)・ジョナサン・デミ (Jonathan Demme) 作品『羊たちの沈黙』(1991)・メアリー・ハロン (Mary Harron) 作品『アメリカン・サイコ』(2000)・トム・シックス (Tom Six) 作品『ムカデ人間』(2010)・三池崇史作品『悪の教典』(2012)・白石和彌作品『凶悪』(2013)の以上6作品である。

内容分析では上述のようにサイコパシー特性を測るための尺度である PSPS 尺度を用いて、登場人物の言動が実際のサイコパス患者とされる特徴とどれだけ一致しているかを分析する。映像分析では、映画内の撮影技法であるカメラワーク、アングル、ポジションの観点から演出効果のフローチャートを用いて登場人物の心理描写を分析する。続いて2つの分析を考察した。

終章では、内容分析と映像分析の結果について結論を述べた。結論としては、どの作品も観客に理解されやすいよう誇張した表現を用いて、スペクタクルの必要性を強調した。

今後の課題としては、PSPS 尺度の項目の通りサイコパスと呼ばれる患者も様々な種別に分類されるが、今回の研究ではその区別が叶わなかったために、それぞれの映画作品の登場人物がどのタイプのサイコパスなのかを区別する事が必要であると考えられる。

キーワード

サイコパス 映画 サコスリラー PSPS 尺度 撮影技法

目次

序章	はじめに.....	1
第1節	本研究の目的と意義.....	1
第2節	本論文の構成.....	1
第1章	先行研究の概観.....	2
第1節	サイコパスとは何か.....	2
第2節	サイコスリラーとは何か.....	3
第3節	撮影技法における心理描写.....	6
第4節	サイコスリラーの歴史.....	7
第2章	研究課題と研究方法.....	9
第1節	研究課題.....	9
第2節	研究方法.....	9
第3章	内容分析・映像分析.....	10
第1節	目的.....	10
第2節	方法.....	10
第3節	結果 PSPS 尺度を用いての内容分析.....	13
第1項	サイコ.....	13
第2項	羊たちの沈黙.....	13
第3項	アメリカン・サイコ.....	14
第4項	ムカデ人間.....	14
第5項	悪の教典.....	14
第6項	凶悪.....	15
第4節	結果 映像分析.....	15
第1項	サイコ.....	16
第2項	羊たちの沈黙.....	17
第3項	アメリカン・サイコ.....	19
第4項	ムカデ人間.....	21
第5項	悪の教典.....	23

第6項 凶悪	25
第5節 考察	26
終章 結論	27
参考文献	28
参考サイト	29
付録	i